

議案第 21 号

令和 2 年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価について

上記の議案を提出する。

令和 3 年 8 月 11 日

鳥栖市教育委員会
教育長 天野 昌明

(提案理由)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、公表する必要があるため、鳥栖市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し、又は臨時に代理させる規則第 2 条第 1 項第 20 号の規定によりこの案を提出する。

令和2年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価について

1 根拠法：地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条

- ・教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- ・教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

- ・教育委員会会議と教育委員の活動状況
- ・鳥栖市教育プランに掲げる12施策および主な取組

3 点検・評価の方法

教育委員会による自己評価及び学識経験者2名（福岡女学院大学学長伊藤文一氏、久留米大学教授徳田智代氏）による外部評価を実施

4 評価の経緯

令和3年4月定例教育委員会	点検評価の進め方、学識経験者候補について承認
令和3年4月下旬	学識経験者への外部評価依頼
令和3年5月中旬～	自己評価の実施
令和3年6月定例教育委員会	点検評価報告書（自己評価案等）の協議
令和3年7月2日	学識経験者への自己評価等の内容説明
令和3年7月中旬～	外部評価の実施、点検評価報告書（最終案）の作成
令和3年8月定例教育委員会	点検評価報告書（最終案）の審議

5 点検評価報告書（最終案）

別冊のとおり

6 今後の予定

令和3年9月 市議会に報告書を提出・市ホームページにて公表

7 外部評価における主な指摘

(1) 教育委員会会議と教育委員の活動

- ・新型コロナウイルス感染症への様々な対応に苦慮しながらも、「学校を止めない」という気持ちで一丸となって取り組んでいると思う。

(2) 鳥栖市教育プランに掲げる事業

【学力向上】

- ・児童生徒一人一台タブレット型端末の有効活用について、すでに不登校児童生徒についての活用を始められているとのことなので、その効果についても今後の報告をお願いしたい。
- ・教科「日本語」について、市HPで紹介している内容の一部に「日本の言語や文化に親しむことにより、日本語の持つ美しさや、日本人が持っている感性、情緒を養い、日本人としての教養を身に付け、言語や文化を継承し、新たな創造へとつないでいきます。」とあるが、下線部については、外国籍の子どもたちも多く、また多様性を尊重する態度を育成するという点からも、表現を検討していただきたい。

【豊かな心】

- ・これまで課題であった中学校の通級指導教室が田代中学校に新設されたことについては、様々なご苦勞があったことと推察する。今後も中学校への設置が進み、教育・支援がさらに充実していくことを期待する。
- ・青少年の自殺者数が非常に増えている現状があるので、「いじめ・いのちを考える日」の活用や青少年になじみのあるソーシャルメディアの活用等も検討していただき、引き続き未然防止に努めていただきたい。

【生涯学習】

- ・「図書館機能の充実」「図書館外事業の充実」について、園田名誉館長の「楽しく書ける作文講座」の動画は、子どもたちにとってより身近な魅力ある図書館になることに繋がるのではないかと考える。さらにコンテンツが充実していくことを楽しみにしている。欲をいえば、これまで図書館と縁がなかった大人への発信も検討していただければ考える。

【人権教育】

- ・自己評価でも述べられているように、新型コロナウイルス感染症に起因する差別が大きな問題になっている。人権教育の様々な機会を使って、コロナ差別について取り上げていただければと考える。

【青少年健全育成】

- ・「自発的に生きる力や協調性を養う」ことは、これからの子どもたちにとって極めて重要なことと考えるので、体験交流事業の継続・発展を期待している。